


新潟県栄養士会医療事業部

平成 28 年度春季研修会報告

日時	平成 28 年 5 月 21 日 (土) 10:00~16:00
会場	新潟ユニゾンプラザ 参加者数： 138 名
事業内容	<p>特別講演①「高齢者の低栄養 ～高齢者における栄養管理～」 社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部 部長 宮澤 靖 先生</p> <p>特別講演②「栄養部門の組織強化」 社会医療法人近森会 近森病院 臨床栄養部 部長 宮澤 靖 先生</p> <p>事例発表「摂食嚥下障害の統一栄養指導媒体について ～中越 NST 摂食嚥下部門の取り組み～」 立川総合病院 管理栄養士 村越 南 氏</p>
所感	<p>特別講演では、社会医療法人 近森病院 臨床栄養部部長の宮澤 靖先生より、御講義をいただきました。まず、午前の部は「高齢者の低栄養」をテーマに、高齢者に対する栄養アセスメントや栄養的視点からみた特徴などについて勉強させていただきました。基礎疾患や検査値がやや低値だからといって高齢者に既存の基準を当てはめた栄養管理は適切ではないこと、また、何が問題になっているのかを見極める視点やセンスが必要なこと等、今まで行ってきた栄養管理が適切であったのかを改めて考えさせられる内容でした。</p>  <p>午後の部では、「栄養部門の組織強化」をテーマに、近森病院での取り組みや実績を紹介していただきました。管理栄養士を増員するにはどうすればよいのか、どのようにして人件費を賄えばよいのか等、近森病院で実際に取り組んできた内容を交えて御講義をいただきました。まとめさせていただくと、「固定観念を壊して業務の選択と集中を行い、治療成績の向上や収益の増加につなげる」、というものでした。言葉にすると簡単ですが、これを実践するのはとても難しいことだと思います。しかし、宮澤先生自身</p>

も順風満帆で現在の栄養部門を組織できたわけではなく、過去には数々の困難があったことを打ち明けていただきました。私達も今回の講義をきっかけに、1歩ずつ栄養部門の組織強化を実現させていきたいと強く感じた特別講演でした。

実践報告では、立川総合病院 管理栄養士の村越 南さんに中越 NST での取り組みについて紹介していただきました。中越では地域の病院が一体となって中越 NST を組織し、シームレスな栄養管理を目指して活動されています。今回は、中越 NST の一部門である摂食嚥下部門で作成した統一指導媒体についてご提示していただきました。また、作成時にご苦労されたエピソードや、媒体を用いて行った指導の経過なども紹介していただきました。これから統一した摂食嚥下指導媒体の作成を検討している地域には非常に参考になったのではないかと思います。また、中越 NST では作成した媒体の利用を希望する病院に無料で提供されているとのことでした。他の病院から使用した感想や意見等を伺いたいとの事でしたので、まだ摂食嚥下に関する指導媒体を用意できていない病院・施設の会員はご利用してみてもはいかがでしょうか。

